

NEWS 連合千葉



<http://chiba.jtuc-rengo.jp/>

日本労働組合総連合会
千葉県連合会(連合千葉)

発行人 永富博之 編集人 小山良成
〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10
千葉県教育会館 新館6階
TEL 043-201-2022 FAX 043-201-2023

No.181 2019年12月



第16期
連合千葉役員 (敬称略)

連合千葉第17回定期大会 小谷会長挨拶 要旨

日頃より連合千葉の諸活動に対し、構成組織・地域協議会をはじめ、関係団体の皆さまのご理解・ご協力に厚く御礼を申し上げます。また、来賓として関係各方面から多くの皆様に出席いただいています。心から感謝申し上げます。

さて、2年前の第16回定期大会以降、我々働く者に関する事柄や労働組合、あるいは組織といった点で大きな出来事が多数ありました。振り返りながら述べさせていただきます。

1点目は、自然災害への対応という点です。冬の豪雪、夏の猛暑をはじめ、様々な箇所での大規模地震、記録的な集中豪雨、台風の直撃等々、全国各地に死者を出す大規模な自然災害が幾度となく発生しました。とりわけ台風15号・19号、そして21号の豪雨は、千葉県に甚大な被害をもたらしました。改めて亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災された方々に対してお見舞いを申し上げます。1日でも早く元の生活に戻されることを祈る次第です。一方では、災害発生直後から復旧に向けて寝る間もなく懸命な努力をしている電力関係者、ならびに各自治体関係者、通信関係者等の尽力に対し、心から敬意を表します。こうした復旧に向けて懸命に働いている人たちがいることを同じ働く仲間として認識しあいたいと思います。連合千葉としては、9月20日に緊急災害対策本部を立ち上げ対応してきましたが、取り組む中で難しさを感じているところです。現在も対応過程であり、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。加えて、今回千葉県が被災地となったことで、改めて被災地となった場合の対応について検討が必要であることを痛感しています。今後、具体的な対応を検討していくますが、各産別・地協でも災害対策・助け合いといった点で議論を深めていただきたいと思います。

2点目は、働き方改革についてです。昨年の通常国会において、働き方改革関連法が成立し、今年の4月から順次施行されています。罰則付き残業時間の上限規制や年5日の年休取得の義務化、勤務間インターバル制度等、施行している制度については、その趣旨を活かすために労働組合としてのチェック機能を的確に発揮していかなければなりません。また、一方で働く者や生活者といった視点で考えなければならないこととして、長時間労働が常態化している要因の1つとして、過剰なサービスもあると考えます。サービスの後ろでは、同じ働く人がいるといった意識を持ちながら、過剰なサービスを減少させていく運動も必要であると強く感じています。

3点目は、政治についてです。我々が政治活動を取り組む目的は、勤労者・生活者政策の実現であり、それに向けた当選した議員との連携について、構成組織・地協の特段のご尽力をお願いいたします。一方で、今回の一連の選挙で大きな課題となったのは、投票率の低下です。政治は生活に直結する身近なものであること、政治は誰のためにあるのか、誰のための政治を求めるのか、といった根本的なことを、地道に、愚直に社会に訴えていかなければならないと考えています。

4点目は、今年の11月で連合結成30年を迎えるということです。連合本部は、この30年を契機に、2035年の社会を見据えながら、「持続可能性」「包摂」を運動の土台とする新たな連合ビジョンを策定しました。これまでのビジョンである「働くことを軸とする安心社会」をさらに深化させるべく「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す」をフレーズとしています。連合千葉としても、これまで積み上げてきた運動を大切にしながら、今の時代に相応しい運動、これからを展望した運動を構築していきたいと考えています。

最後に、引き続きの連合千葉へのご支援・ご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

※会長挨拶の全文は連合千葉ホームページに掲載しています。



連合千葉 会長 小谷 裕



連合千葉第17回定期大会開催



連合千葉は、10月25日(金)オークラ千葉ホテルにおいて、来賓・代議員・傍聴者・マスコミ関係者など約200名の参加者のもと、第17回定期大会を開催しました。大会議長には、自動車総連の「田部井 真吾」代議員と、電力総連の「相田 美成子」代議員が選出され、一日を通してスムーズな進行に務めました。

代議員からは、報告の部で1点、議案の部では6点の質疑がありました。特に、電力総連からの台風15号以降の停電対応の取り組み報告は、会場にいた参加者は同じ働くものとして、仕事に対する使命感や責任感など、胸を熱くするものを感じているように見えました。

最終的に執行部から提案された5本の議案は、全て満場一致で承認され、連合千葉として第16期のスタートを切りました。



災害対応を報告する淡路代議員(電力総連)



方針提案する林田事務局長

挨拶に立つ永富(新)事務局長



会場全員での「がんばろう三唱」

在任中のご尽力に心より感謝を申し上げます。

(連合千葉第24回地方委員会(2018.10.26開催)以降、退任された役員のみなさん)

副会長	椎名 卫(自治労)・鈴木 洋(情報労連)・高山 健太郎(電機連合)・村田 崇(自動車総連)
事務局長	林田 博史(JAM東京千葉)
執行委員	会計監査 田中 孝明(航空連合) 荒谷 栄一郎(電力総連)・有田 雅美(JAM東京千葉)・帷子 洋一(基幹労連)・加藤 麻美(電力総連) 肥田 達矢(政労連)・後藤 康介(労済労連)・関口 喜一(情報労連)・野村 敦(JP労組) 細川 純(自動車総連)・堀口 靖之(千教組)・山口 広光(JEC連合)

ボランティア活動の取り組み

連合千葉は、台風15号発生から最初の日曜日となる9月15日には、南房総へ入り、現地調査と千葉県災害ボランティアセンター連絡会との連携をスタートさせました。

この間、被災地入りも10回を超える(11/22現在)。一日でも早い復興に向けて、連合千葉はボランティア活動を継続中です。



● 9/28 土砂かき



● 10/26 トタンの回収と解体



● 11/24 連合千葉としてボランティア活動に参加した皆さん



連合千葉 2020新春の集い

日 時：2020年1月8日(水) 15時00分～
場 所：ホテルポートプラザちば
参加費：6,000円

※組合員の申し込みは、産別経由でお願いします。

連合千葉
「年末年始の事務所閉鎖」

2019年12月28日(土)から
2020年1月5日まで、
年末年始休業とさせて
いただきます。

編集後記(題字変更について)

連合千葉は、11月結成30周年を迎えました。これを一つの節目として、本誌の題字を変更しました。新たな題字には、時代変化を捉えながら更なる飛躍の想いが込められています。この間の愛読に感謝するとともに、活動を支え続けてくれた組合員のみなさんに感謝申し上げます。編集部一同、更なる紙面の充実に努めてまいります。

NEWS 連合千葉
<http://chiba.jtuc-rengo.jp/>

日本労働組合総連合会
千葉県連合会(連合千葉)
TEL 043-507-2022 FAX 043-507-2023
No.187 2019年12月号

第16期 連合千葉役員(敬称略)

会長 小谷 裕 (基幹労連)	副会長 板倉 淳吾 (自動車総連)	副会長 太田 徳彦 (J AM東京千葉)	副会長 川又 和弘 (情報労連)	副会長 出口 直哉 (電機連合)	副会長 新山 齊 (UAゼンセン)	副会長 平野 盛士 (基幹労連)
副会長 古川 寛之 (千教組)	副会長 細川 健 (県私鉄)	副会長 宮内 利明 (フード連合)	副会長 山崎 英世 (電力連)	副会長 横田 義之 (自治労)	副会長 渡辺 昌彦 (JP労組)	事務局長 永富 博之 (電力連)